

令和5年度 自己評価・自己点検のまとめ

認定こども園 みどりのかぜ北ウィング

当園では、子ども達の健やかな成長と安全確保、また、職員一人ひとりの保育の質の向上を図るためチェックリストを活用し、良かった点や改善点を再確認しています。

今後ますます地域に根ざした施設となり、みなさまに安心していただけるような環境を整え、子ども・保護者・子育て世帯の方のために職員一同意識を高めていきます。

1、自己評価

(1)教育・保育の質の向上について

- ・保育教諭の専門的な知識や教育・保育の質の向上のため、園内研修・外部研修・オンライン研修・キャリアアップ研修等に参加し、学んだことを日々の保育に活かしながら、教育・保育の質の充実を図ってきた。また、学んできたことを園内研修を通して職員に伝えたり、研修報告書を提出し、職員間で共有しながら相互に教育の質の向上に努めてきた。
- ・学識経験者を招き、伴走型園内研修を実施し、子ども達の学びや育ちについて理解を深め子どもの主体性を尊重した保育展開や保育教諭の役割の重要性について見つめなおすことができた。
〈改善策〉・子どもの気づきや行動を温かく見守り、一人ひとりが自由に表現できる保育環境を構成できるよう、今後も積極的に園内外の研修に参加していく。
 - ・子ども主体の保育を園全体で展開していくためにも、園内で保育を見せ合い、学び合う機会を設定したり、意見交換や自己研鑽の時間を確保するよう努める。

(2)保護者・地域との連携と支援

- ・ドキュメンテーションを用いてのクラスだより配信、SNS を活用することで子ども達の成長やその時のエピソードをリアルタイムに伝えることができた。
- ・子育て支援サークル「ウィンディー」では、食事のレシピや家庭でも簡単にできる遊びなどの情報発信をしたり、リラックスした雰囲気を楽しみながら、ちょっとしたおしゃべりを通して育児の悩みや子育ての不安を和らげられるよう努めた。
- ・こども食堂「つながり食堂ほっこり」では、在園児とその保護者だけではなく卒園児や近隣の方々に気軽に足を運んでもらえる場所になっている。
〈改善策〉・園庭・園開放も行っているが、なかなか足を運んでもらえない状態にある。もっと周知したり、開放時に遊べる環境の構成を図っていく。
 - ・こども食堂では、開催時間での課題があがった。参加者の安全を守るため、日没時間を考慮しながら開催するようにする。

(3)防災対策と危機管理意識について

- ・毎月の避難訓練は様々なシチュエーションを想定し行っている。また、今年度初めて第一次避難所になっている近隣の中学校との合同の避難訓練を行い、災害時の同線や動きなどを確認することができた。常に子ども一人ひとりの命を預かっている自覚を強く持ち、安心・安全を意識し、臨機応変に対応できるようにしなくてはならない。

- ・近隣でのケモノ目撃情報を受け、おがスマを利用したの配信や玄関掲示などで周知することができた。また、目撃した際のガイドラインも作成した。

〈改善策〉・今後も継続し近隣の小中学校との避難訓練を行い、地域の方々とも連携し「命を守る」ことを第一義ととらえて危機管理に努める。また、災害の大きさによってどのくらいの被害が起こるか想定のもと危険個所のチェックをする。

- ・定期的に遊具や玩具の破損や不具合の確認や修理を行い、ヒヤリハット事例を基に危険な場所を確実に職員で共通理解を図り、大きな事故やケガに繋がらないように努める。

2、自己点検の分析

(1) 職員の意識改革

- ・職員の多様性を受け入れ、理解を深めることで仕事の効率化を図っていく。また、職員間でのコミュニケーションを大事にするとともに、職員同士で配慮し合える意識づくり、環境づくりに心がけ共に成長していきたい。

(2) 保育における子ども理解

- ・子どもの自己肯定感を高められるような言葉がけをし、それぞれが自信をもって過ごせるようにする。また、子どもと触れ合う中で、表情やつぶやきを見逃さず、子どもが自分で一歩を踏み出すことができるような環境を構成していくことを心がけたい。

(3) 保護者との関わり

- ・保護者との信頼関係を築くためには、丁寧かつ迅速な対応の積み重ねが重要であり、保護者から発信されたことは、一つひとつ誠心誠意受け止めていくことが大切である。また、保護者との関わりは個人的な見解で対応せず、職員全体で情報の共有に努め、園の理念や方針が伝わるよう意識していく。

3、まとめと今後の展望

- ・子どもの発信から保育を展開していけるスキルを身に付けるために、職員一人ひとりが自ら学ぶ姿勢を持ち続け、日々レベルアップを目指していける環境を整えていきたいと考えている。
- ・園の理念や方針の基本となる「保育 credo」や「教育・保育経営基本方針」は職員が迷った時の道しるべとなる。全職員が同じ方向を向いて子ども一人ひとりに寄り添い、健やかな成長を見守っていきたい。
- ・子育てが家庭が“子育ては大変”ではなく“子育ては楽しい”と見出すことができるような子育て支援をおこなうことが大切だと感じている。園児・保護者の皆様はもちろん、子育て家庭が地域の中で“子育てを楽しめる”働きかけをしていきたい。